

公の施設の使用料・減免等に関するアンケート調査の結果について

1 概要

(1) 実施方法

- ① 上越市電子システム「e-TUMO」
 - ・市HP及び市公式LINE等で周知・誘導
- ② 紙ベースの調査票の回収
 - ・利用者数が多い施設など（35施設）に紙ベースの調査票を設置

(2) 調査期間

- ・令和7年12月12日（金）～令和8年1月23日（金）

2 調査結果

(1) 回答者数等

- ① 総回答者数
 - ・251人
- ② 主な回答者内訳

ア 年代別

年代	人数	割合
10代以下	16人	6.4%
20代	5人	2.0%
30代	15人	6.0%
40代	38人	15.1%
50代	59人	23.5%
60代	55人	21.9%
70代	56人	22.3%
80代以上	6人	2.4%
回答なし	1人	0.4%
合計	251人	100.0%

イ 地域別

地域	人数	割合
合併前上越市	159人	63.3%
安塚区	1人	0.4%
浦川原区	4人	1.6%
大島区	3人	1.2%
牧区	2人	0.8%
柿崎区	11人	4.4%
大潟区	21人	8.4%
頸城区	15人	6.0%
吉川区	6人	2.4%
中郷区	12人	4.8%
板倉区	4人	1.6%
清里区	3人	1.2%
三和区	4人	1.6%
名立区	0人	0.0%
上越市外	5人	2.0%
回答なし	1人	0.4%
合計	251人	100.0%

ウ 施設の利用頻度

利用頻度	人数	割合
月1～3回程度	63人	25.1%
週1回程度	56人	22.3%
週2回以上	67人	26.7%
年に数回程度	51人	20.3%
ほとんど利用しない	11人	4.4%
回答なし	3人	1.2%
合計	251人	100.0%

利用者 186人

ほとんど利用なし 62人

エ 団体・個人利用の別（複数回答あり）

団体・個人の別	人数	割合
地域コミュニティ組織（町内会・こども会等）	21人	7.9%
青少年のスポーツクラブ（学校の部活動以外）	54人	20.3%
スポーツ以外の青少年のクラブ（学校の部活動以外）	6人	2.3%
学校の部活動	5人	1.9%
大人の趣味のサークルや同好会	79人	29.7%
その他の団体	25人	9.4%
営利営業を目的とする企業活動	3人	1.1%
個人	61人	22.9%
回答なし	12人	4.5%
合計	266人	100.0%

(2) 回答内容

- ① 使用料等の水準をどう思うか
ア 利用施設の利用頻度別回答

- ・利用者からの回答では、使用料の水準は「ちょうどよい」とする回答が最も多かった。
- ・次いで「安い」、「高い」とする回答がそれぞれ2割弱を占めた。

	ちょうどよい		高い		安い		わからない		回答なし		合計 人数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
月1～3回程度	29人	46.0%	5人	7.9%	13人	20.6%	12人	19.0%	4人	6.3%	63人
週1回程度	29人	51.8%	13人	23.2%	6人	10.7%	7人	12.5%	1人	1.8%	56人
週2回以上	32人	47.8%	9人	13.4%	14人	20.9%	7人	10.4%	5人	7.5%	67人
年に数回程度	19人	37.3%	9人	17.6%	15人	29.4%	6人	11.8%	2人	3.9%	51人
ほとんど利用しない	1人	9.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	10人	90.9%	11人
回答なし	1人	33.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	33.3%	1人	33.3%	3人
合計	111人	44.2%	36人	14.3%	48人	19.1%	33人	13.1%	23人	9.2%	251人

イ 団体・個人利用の別による回答（複数回答あり）

・団体利用による回答、個人利用による回答のいずれも、使用料の水準は「ちょうどよい」とする回答が最も多かった。次いで「安い」とする回答が多かった。

	ちょうどよい		高い		安い		わからない		回答なし		合計 人数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
地域コミュニティ組織 (町内会・子ども会等)	6人	28.6%	1人	4.8%	8人	38.1%	4人	19.0%	2人	9.5%	21人
青少年のスポーツクラブ (学校の部活動以外)	27人	50.0%	10人	18.5%	9人	16.7%	8人	14.8%	0人	0.0%	54人
スポーツ以外の青少年の クラブ(学校の部活動以 外)	2人	33.3%	1人	16.7%	2人	33.3%	1人	16.7%	0人	0.0%	6人
学校の部活動	2人	40.0%	1人	20.0%	2人	40.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	5人
大人の趣味のサークルや 同好会	38人	48.1%	18人	22.8%	8人	10.1%	12人	15.2%	3人	3.8%	79人
その他の団体	13人	52.0%	2人	8.0%	4人	16.0%	4人	16.0%	2人	8.0%	25人
営利営業を目的とする企 業活動	1人	33.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	33.3%	1人	33.3%	3人
個人	29人	47.5%	4人	6.6%	17人	27.9%	5人	8.2%	6人	9.8%	61人
回答なし	1人	8.3%	0人	0.0%	1人	8.3%	0人	0.0%	10人	83.3%	12人
合計※	111人	44.2%	36人	14.3%	48人	19.1%	33人	13.1%	23人	9.2%	251人

※団体・個人利用の別で複数に回答している場合があるため、回答者内訳と合計は一致しない

② 今後どのような取組が必要と思うか（利用施設の利用頻度別回答、複数回答あり）

・今後の必要な取組として、回答の多い順に㊸「利用実態に合わせた開館時間の縮小、休館日の拡大、予約制、無人化など、効率的な管理による経費の縮減」（4割強）、㊹「減免の縮小による収入の増加」（4割弱）、㊺「使用料の値上げ」（3割強）となった。

	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	
月1～3回程度	17人	22人	26人	15人	19人	12人	12人	8人	
週1回程度	13人	13人	16人	22人	19人	9人	12人	11人	
週2回以上	23人	17人	21人	16人	26人	10人	10人	18人	
年に数回程度	21人	16人	22人	7人	27人	9人	18人	3人	
ほとんど利用しない	3人	3人	3人	2人	6人	0人	4人	1人	
回答なし	0人	0人	0人	1人	1人	1人	0人	0人	
合計	(人数)	77人	71人	88人	63人	98人	41人	56人	41人
	(割合)	33.2%	30.6%	37.9%	27.2%	42.2%	17.7%	24.1%	17.7%

● 上記㊸～㊿の選択肢内容

- ㊸ 使用料の値上げ
 - ㊸ 冷暖房やガス、照明など、個別にかかる経費を新たに徴収
 - ㊹ 減免の縮小による収入の増加（利用者（団体）の負担増）
 - ㊻ 税金で負担し不足分をまかない、利用者の負担を下げる（値上げはしない）
 - ㊼ 利用実態に合わせた開館時間の縮小、休館日の拡大、予約制（予約がない場合は閉館）、無人化（利用者に鍵を貸し出し開錠・施錠を自ら行う等）など、効率的な管理による経費の縮減
 - ㊽ 必要最小限の修繕や清掃回数の縮小などの取組による経費の縮減
 - ㊾ 同じ機能で複数ある施設を集約する（一部施設の廃止を含む）ことによる経費の縮減
 - ㊿ その他

● 「㊿ その他」の回答（原文ママ）

【使用料の値上げ・減免の縮小】

- ・冷暖房やガス、照明など、個別にかかる経費を含めた使用料の値上げ
- ・冷房と暖房の値段が同じだが？実状に合わせてもう少し徴収額を増額して良いと思う。
- ・値上げは仕方ない。青少年の減免を地区ごとの施設でわけているが、それを撤廃し、平等にしてほしい。
- ・無料利用の客から料金を取るようにする。

- ・減免をなしにし、多くの方から使ってもらえるようにし、稼働率を上げる。
- ・減免 100%は、学校の授業、行事以外は無しとした方が良い。どんな団体(チーム)でも、どんな場所を使おうとも、学校解放でも、施設利用料は絶対に払うべきです。
- ・高齢者ほど健康保険負担を減らすため、運動あるいは出かけて人と交流することが大切です。市の予算を見直して、施設利用はなるべく現状維持を希望します。減免全額免除の現状には驚きました。とんでもないことです。半額負担すべきです。それでないと不公平です。(物価は上がり続けていますから)
- ・青少年のクラブでも、高額な会費を取っているところについては基準を厳しくしてもよいと思う。例えば、会費が1万円/月を超える
- ・利用する人が、利用するのに必要なお金を払うのはあたりまえ。スポーツ施設だけでなく、コミプラも有料にすべき。無料にすることがサービスではない
- ・コミプラの有料化(利用したら負担するのは当たり前と思います)

【利用者の負担軽減】

- ・全て公費負担とし、市民の負担は無しとする。職員の削減など経費削減に取り組むこと。
- ・利用料を減免し、その分、利用者を増やす工夫。年間(半年)パスポートにし、登録者を増やす。
- ・70歳以上の同好会に50%の免除希望します。
- ・1 使用料は上げ、市民利用の減免率を上げる(温浴施設との対比はアンフェアかと。) 2 利用者による管理(簡単な修繕など)
- ・弓道連盟では芝刈り、冬囲い大掃除、ストーブと灯油の購入。個人利用が多く、他市のような年間割引がなく、利用料負担額は高い。
- ・医療費削減にスポーツを盛んにすることは大切

【適正配置や適正管理による経費削減】

- ・第4次公の施設の適正配置計画(令和3年度~令和12年度)に沿って、計画の促進を早め合理的な統合・廃止による維持管理費の低減をはかる。人口動態から統廃はやむを得ない現況にあり、当該地域住民との調整を深めて推進。○中心地への集中は避ける ○移動手段の確保等考慮 ○進捗状況を市民に知らしめる …市民の理解を深める
- ・新市長公約の子どもセンター設立など、新機能との複合リビルドを総合データだけでなく、個別施設の利用形態や、実績などを1つ1つ開示してほしい。それをふまえた個別の取組案を作る必要がある。まず、一番は不必要な経費削減が一番であり、その後に利用料の値上げ、減免縮小がすじ
- ・近年建った最早利用目的がよく分からぬ巨大施設は要らぬ

【一部の減免適用団体のマナー向上】

- ・小中学生の利用は、利用者負担無しなので全て予約されてしまう。半額負担を求める。
- ・全額免除されている青少年のスポーツクラブ等の利用キャンセルには一定のペナルティ的な負担をさせるべきだと考えます。
- ・減免団体の中に青少年に関する組織が多くある。その中には小学生の利用も多くあり、午後10時までの利用は見直しが必要と思う。全額減免団体の利用施設予約方法に問題が多い。利用方法や減免方法に不公平なところもあると思われる。見直しが必要。
- ・全額免除の使用者が予定より早く行事が終わっても、あいているのにその場をすぐ返却されず借りることが出来ない事があります。すみやかに返却してくれれば有料の人達が借りられるのに。
- ・ソフトテニスで試合終わって片付けてあっても使えないのはおかしい。

【取組のご提案】

- ・企業や店舗 個人からの寄付を募る。希望あれば宣伝PRをできるシステムに。
- ・理解ある企業とタイアップ。
- ・希望館のあまり利用されていない部屋を、オーレンにあるような子どもが遊べる部屋にして使用料をいただく。
- ・安全維持管理要員として、例えばボランティア(交通費支給)制度創設による経費削減
- ・中学生の地域移行で使用する際は中学校の部活動廃止に伴い、今まで部活動にかかっていた予算を使用。
- ・市議の定数削減、市職員の削減、医療費の使用率が上越は高いので健康管理部分は削れない(やっと少し良くなって来たのに) ワースト1でした全国的に
- ・市の庁舎の清掃を職員がする。

【その他】

- ・現状維持
- ・ドームの周りの整備をお願いします。花壇は草だらけで残念でなりません。他県から来る人もいるのに恥ずかしいです。

③ 今後の減免制度の方向性として適切と思うものは

- ・今後の減免制度として、「半額負担」が適切とする回答が最も多かった。
- ・「小中学生のスポーツ・文化系クラブ」においては、「負担なし」が適切とする回答が最も多かった。

利用目的	全額負担		半額負担		負担なし		その他		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
町内会・子供会・老人会等	30人	12.9%	112人	48.3%	73人	31.5%	14人	6.0%	22人	9.5%
小中学生のスポーツ・文化系クラブ	32人	13.8%	81人	34.9%	99人	42.7%	16人	6.9%	23人	9.9%
成人のスポーツクラブ	85人	36.6%	119人	51.3%	19人	8.2%	10人	4.3%	18人	7.8%
大会や各種講座	60人	25.9%	128人	55.2%	26人	11.2%	14人	6.0%	23人	9.9%